

東京慈恵会医科大学附属第三病院

住所：〒201-8601 東京都狛江市和泉本町 4-11-1

TEL：03-3480-1151

HP：<http://www.iikei.ac.jp/hospital/daisan/ml>

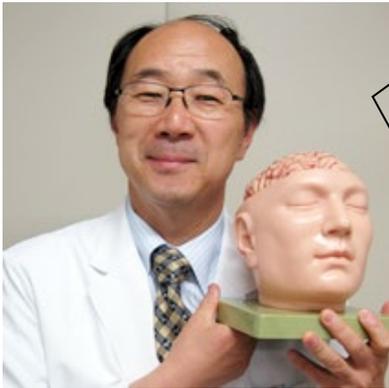


リハビリテーション科医師(令和4年11月現在)

責任者：診療部長・教授・専門医・指導医 渡邊 修(浜松医 S60卒)

総病床数：581床、リハビリテーション科病床数：26床

理学療法士9名、作業療法士6名、言語聴覚士1名



責任者からのコメント

リハビリテーション科は、脳卒中や頭部外傷などの後遺障害として表れる四肢の麻痺、失語症、高次脳機能障害、嚥下障害や整形外科術後、神経筋疾患や種々の原因による廃用症候群、排尿障害に対し、入院および外来にて治療・リハビリテーションを行っています。脳卒中片麻痺に対し、経頭蓋磁気刺激治療と集中的リハビリテーションを施行し、良好な成績を得ております。また麻痺肢の痙性に対しボツリヌス治療を施行しております。さらに脳損傷に起因する高次脳機能障害に対し、地域に根ざした包括的なリハビリテーションを行っています。科学的根拠に基づいた、障害そのものに対する治療および障害に対する代償訓練、環境調整を行い、患者さんのQOLを重視した社会復帰を支援しています。

研修病院としての特徴

1. 大学附属病院としてリハビリテーション科の専門病棟を有しています。

当科は、急性期から回復期、生活期のすべての時期のリハビリテーションに対応しています。社会復帰に向けて、専門病棟に26床のベッドを保有し、7人のリハ医が主治医として、包括的医療、全人的医療に取り組んでいます。年間の入院患者数は、毎年、約200名で脳卒中をはじめとするすべての疾患に対応しています。

2. 特に力を入れている治療手技

リハビリテーション医学の多くの治療手技の中で、当科が、診療および研究、学会活動において、特に力を入れているテーマを列記します。① 片麻痺に対するrTMS(反復性経頭蓋磁気刺激)+OT短期集中訓練(NEURO15) ② 失語症に対するrTMS ③ ボツリヌス毒素治療 ④ 嚥下障害に対する包括的アプローチ ⑤ リハビリテーション栄養 ⑥ 高次脳機能障害に対する包括的アプローチ

3. 東京都の高次脳機能障害支援拠点病院の指定を受けています。

当院は、東京都より北多摩南部保健医療圏における、高次脳機能障害者支援に関する「専門的リハビリテーション充実モデル事業」の委託を受けています。高次脳機能障害で悩む患者さんやそのご家族は全国から当外来を受診され、その評価、診断、治療、リハビリテーションの指導を行っています。

最後に

リハビリテーション医学は、病気や事故の後に、障害が後遺しても、ふたたび「社会的な人」として、社会に戻っていただく支援を行うことを主題とする学問です。私たちは、さらに、科学性を追求しています。

東京慈恵会医科大学
リハビリテーション医学講座